

第二級海上特殊無線技士試験問題

無線工学

〔13〕 次の記述で、正しいのはどれか。

- 1．導線の抵抗が小さくなるほど、交流電流は流れにくくなる。
- 2．導線の断面積が大きくなるほど、交流電流は流れにくくなる。
- 3．コイルのインダクタンスが大きくなるほど、交流電流は流れにくくなる。
- 4．コンデンサの静電容量が大きくなるほど、交流電流は流れにくくなる。

〔14〕 半導体を用いた電子部品の温度が上昇すると、一般にその部品の動作にどのような変化が起きるか。

- 1．半導体の抵抗が増加し、電流が減少する。
- 2．半導体の抵抗が増加し、電流が増加する。
- 3．半導体の抵抗が減少し、電流が減少する。
- 4．半導体の抵抗が減少し、電流が増加する。

〔15〕 レーダー受信機において、最も影響の大きい雑音は、次のうちどれか。

- 1．空電による雑音
- 2．電気器具による雑音
- 3．電動機による雑音
- 4．受信機内部の雑音

〔16〕 短波の伝わり方で、誤っているのは次のうちどれか。

- 1．波長の長い電波は電離層を突き抜け、波長の短い電波は反射する。
- 2．遠距離で受信できても、近距離で受信できない地帯がある。
- 3．波長の短い電波ほど、電離層を突き抜けるときの減衰が少ない。
- 4．波長の短い電波ほど、電離層で反射されるとき減衰が多い。

〔17〕 12〔V〕、60〔Ah〕の蓄電池を2個並列に接続したとき、合成電圧及び合成容量の組合せで、正しいのは次のうちどれか。

合成電圧	合成容量
1．12〔V〕	60〔Ah〕
2．12〔V〕	120〔Ah〕
3．24〔V〕	60〔Ah〕
4．24〔V〕	120〔Ah〕

〔18〕 一般に使用されているテストで、直接測定できないものは、次のうちどれか。

- 1．直流電流
- 2．交流電圧
- 3．高周波電流
- 4．抵抗

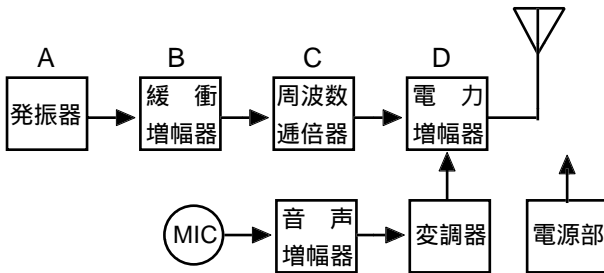
第二級海上特殊無線技士試験問題

無線工学

〔19〕 振幅が120〔V〕の搬送波を、単一正弦波で変調度70〔%〕の振幅変調を行うと、変調波の振幅の最大値は幾らになるか。

1. 84〔V〕
2. 120〔V〕
3. 168〔V〕
4. 240〔V〕

〔20〕 図に示す構成の送信機において、アンテナから放射される電波の周波数を決定する段の組合せは、次のうちどれか。



1. AとB
2. BとD
3. AとC
4. CとD

〔21〕 船舶用レーダーのパネル面において、波浪による反射のため物標の識別が困難なとき、操作するつまみで最も適切なものは、次のうちどれか。

1. 感度調整つまみ
2. 同調つまみ
3. STCつまみ
4. FTCつまみ

〔22〕 無線送受信機の制御器（コントロールパネル）は、どのような目的で使用されるか。

1. 送受信機周辺の電氣的雑音による障害を避けるため。
2. 電源電圧の変動を避けるため。
3. 送信と受信の切替えを容易に行うため。
4. 送受信機を離れたところから操作するため。

〔23〕 SSB（J3E）受信機において、クラリファイヤを調整するのは、どのようなときか。

1. 受信周波数がずれ、音声 hizunde 聞きにくいとき。
2. 受信時、雑音が多くて聞きにくいとき。
3. 受信時、音声小さくて聞きにくいとき。
4. 受信時、入力が強くて聞きにくいとき。

〔24〕 DSB（A3E）送受信機のプレストークボタンを押したが、電波が発射されなかった。この場合点検しなくてよいのは、次のうちどれか。

1. 給電線の接続端子
2. 感度調整つまみ
3. 電源スイッチ
4. マイクコード